

《原 著》

¹²³I-BMIPP 心筋シンチグラフィによる急性心筋梗塞の長期予後評価： BMIPP 単核種による心事故推定の可能性について

三津山勇人* 阿部 正宏* 飯野 均* 藤縄 学*
山科 章**

要旨〔目的〕BMIPP 単核種による急性心筋梗塞の長期予後推定の可能性を検討した。〔方法〕初回急性心筋梗塞 165 例の退院時に BMIPP 心筋シンチ (平均 27 病日) を施行し、初期像と遅延像の不一致 (Discordance) と遠隔期 (64.2 ± 9.8 ヶ月) 心事故の関係を調査した。82 例は TlCl と同時収集 (Tl/BMIPP Dual SPECT) で撮像し、BMIPP との Mismatch と Discordance の関係を検討した。〔結果〕全症例のうち Discordance を 86 例 (52%) に、Dual SPECT 施行例では Mismatch を 30 例 (37%) に認めた。Mismatch と Discordance の関係として Mismatch 例では Washout との重複が有意に高率であった。心事故は Discordance のうち Washout を認めた症例および Dual SPECT のうち Mismatch を認めた症例で有意に高率であった。心事故に対して年齢、性別、梗塞責任血管、左室拡張末期容積係数、左室駆出率、脂肪酸代謝障害の重症度、Washout, Fill in を変数とした多変量解析の結果、Washout が独立した心事故予測因子であった。〔結論〕長期予後推定に Tl/BMIPP Dual SPECT の Mismatch は重要であるが、BMIPP 単核種における Washout も心事故予測に有用と考えられた。

(核医学 42: 97-105, 2005)